

令和元年度 事業報告書

1 事業の成果

時ノ寿の森クラブは、未来の子どもたちへ森林の持つ豊かな多様性と多面的な機能を引き継ぐため、時ノ寿の森で森林保全活動を開始し13年が過ぎました。広く社会の参加を得るため2010年にNPO法人となり、多くの個人・団体の支援を受け、これまで森林を守り、森林の恵みを多くの人々に利用してもらう取り組みをしてきました。

2019年度は、「令和」の年号とともに新しい時代がスタートし、モノづくり、経済、暮らし方において、100年に一度といわれる大変革が起きています。しかし、生命を脅かす自然災害は大規模化と日常化を繰り返し、社会では忌まわしい事件が後を絶ちません。昭和の時代に疲弊した日本を再生するために国を挙げた植樹運動が始まり、今なお全国植樹祭として継承されています。私たちは、今こそ森林の持っている多面的な機能を見直し、「令和の森づくり」を実践する時です。これからどんな時代が来ても、森や川は明るく清らかで、未来の子供たちが森や川の恵みとともに強く、優しく育ってほしいと思います。

令和元年度は、内閣府補助事業の「森の力で地域創生」が最終年度となるため、地域住民をはじめ社会の各種団体と連携し、森林の有形無形の価値を地域づくりに活かすことを目指し、「森林と市民を結ぶ全国の集い2019」「大学生の実習」「企業の社員研修」「森のようちえん」「縁側カフェ」など精力的に実施し、市内外から多彩な人々を当地へお迎えしました。これらの取り組みには、大きな手ごたえを感じました。都市住民にとって森林や里山が第二の故郷のような存在となり、一年を通じて山を訪れ心身を癒し、元気を回復し、新たな生き方を実践してくれたなら、まさに都市と山村が支え合う森と共生する循環型社会が実現すると信じています。

今年度も、県内外の団体から時ノ寿の森クラブの活動を評価いただきました。夏には公益社団法人静岡県山林協会の取材を受け、機関紙「森と人」No.388に掲載され、秋には一般財団法人セブンイレブン記念財団の取材があり、機関紙「みどりの風」冬号No.60で紹介されました。また1月25日には、静岡新聞・静岡放送文化福祉事業団より「ふるさと貢献賞」を受賞しました。

当クラブにとって2020年度は、NPO法人設立10周年となりますが、今世界は新型コロナウイルス禍によって未曾有の不安に陥っています。しかし、国際社会が一丸となり事態を収束させた暁には、これまで支えてくださった多くの皆様をはじめ、国内外の様々な人々を「いのち輝く時ノ寿の森」へお迎えできるように、この活動を続けてまいります。

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数 (人)	受益対象者の範囲 及び人数 (人)	支出額 (千円)
森林保全事業	① 森林山村多面的機能発揮対策事業 人工林間伐 37.4ha ② 静岡県森の力再生事業 人工林間伐 34.0ha ③ 掛川市希望の森づくり植樹祭事業 ④ 掛川市希望の森づくり育樹事業 育樹面積 10,476㎡ ⑤ 障害者就労支援育樹事業(草笛だいてう作業所) 延べ37日・338人 ⑥ 粟ヶ岳市有林再生事業 除伐0.95ha ⑦ 中東遠総合医療センター 間伐0.8ha ⑧ 森の力で地域創生事業(人づくり・仕事づくり・環境づくり) ⑨ 地球環境基金助成事業(持続可能な森林保全システムづくり)	通期	掛川市内	570	1,288	23,581
森林製品販売事業	① 間伐材出荷事業 材積 911㎡ ② 木材製品製造販売事業 六角テーブル2台、木のおもちゃ ③ 生ごみ処理器キエーロ製造事業 普及台数 280台 ④ 森の恵み石けん販売事業 84個 ⑤ ゲストハウス運営 利用者数182人 ⑥ インバウンド受入事業 180人 ⑦ 縁側カフェ事業 利用者数583人	通期	掛川市及び県内外	280	1240	11,387
普及啓発事業	① 森林環境学習出前講座 中学(1)、市民団体(1)、行政(2) ② 大学等課外実習受入事業 36人 ③ インターンシップ受入 3人 ④ 企業社員研修受入事業 2社・61人 ⑤ 森林と市民を結ぶ全国の集いin静岡・掛川の開催 3日間延べ433人 ⑥ 森のようちえん 延25回・242人	通期	掛川市及び県内外	263	876	4,025